

伝える

楽しむ

見る

作る

学ぶ

考える

深まる

東京都写真美術館  
教育普及プログラム記録集  
2014-2018

<b>パブリックプログラム</b>	<b>3</b>
モノクロ銀塩プリントワークショップ	4
じっくり見たり、つくったりしよう！	5
視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ	6
フォトドキュメンタリーワークショップ	7
手作りアニメーション体験	8
高校生限定 スマホの写真でもOK！暗室でモノクロ写真プリントワークショップ	9
クロマキーランド	10
写真のプレゼンテーションを学ぶ	11
オープンワークショップ 手作りアニメーション体験	12
古典技法ワークショップ	13
夏休みワークショップ 手作りの家族写真 暗室でのモノクロ現像に挑戦！	14
8ミリフィルム自家現像ワークショップ	15
B&Wフィルム現像&プリントワークショップin 横浜	16
ステレオ写真ワークショップ	
青写真ワークショップ	
高校生のための写真ワークショップ	
第1回 暗室でのモノクロ現像を体験しよう	17
高校生のための写真ワークショップ	
第2回 フィルムカメラでの撮影、フィルム現像からモノクロプリントまで	
夏休み子供ワークショップ 時間のアニメーションに挑戦！	
<b>スクールプログラム</b>	<b>18</b>
<b>ボランティア活動</b>	<b>27</b>
<b>博物館実習</b>	<b>30</b>

\*本書では、2014年10月から2019年3月までのプログラムについてご紹介しています。

## パブリックプログラム PUBLIC PROGRAM

# パブリックプログラム

東京都写真美術館では、写真・映像・美術に親しみ、作品をより深く理解するきっかけとなるようなプログラムを行っています。子供から大人まで、また初心者から上級者まで幅広い層を対象に、制作体験のプログラムや対話をしながら作品を鑑賞するものなど、さまざまな切り口のプログラムを用意しています。

# モノクロ銀塩プリントワークショップ

写真との関わり方、楽しみ方が多様化した時代に対応して、普段からデジタルカメラ、スマートフォンで写真を撮っている人、フィルムカメラや暗室での現像に興味を持つ人、家庭に古いネガフィルムを持っている人など、幅広い世代や愛好者層を対象に、写真プリントの基本であるモノクロ銀塩プリント（ゼラチン・シルバー・プリント）を半日程度で体験するプログラム。現像済みのネガフィルム、またはデジタル画像を元にしたデジタルネガフィルムから、暗室でプリントを制作します。

## 所要時間

3時間

## 対象

一般大人

## 実施日・参加者数

2016(H28)年度～現在

2016年10月22日(土)、23日(日)/41名

2017年1月28日(土)、29日(日)/34名

2017年6月17日(土)、24日(土)/37名

2017年11月18日(土)、26日(日)/26名

2018年6月16日(土)、23日(土)/36名

2018年11月24日(土)、12月1日(土)/46名

2019年3月16日(土)、20日(水)

※1日あたり2コース実施。各コースの定員は14名。

## 参加者の感想

- ・普段は写真屋が調整した写真で満足していたが、自分でやる事で様々な表現方法を知れて満足。
- ・初めてで不安でしたが丁寧にご指導頂き、満足するものが出来ました。
- ・初心者でも分かるように、じっくりと教えていただきよかったです。参加者の皆さんが持ち込んだ写真も十人十色で興味深かった。
- ・満足出来るまでプリントすると時間が過ぎるのがあっという間でした。1枚プリントする難しさも理解することが出来て、今後、自分でもチャレンジしてみたいです。
- ・自分の手で銀塩プリントを生み出す楽しさを味わったと同時に、奥深さと難しさも分かり始めた気がします。



# じっくり見たり、つくったりしよう！

作品の鑑賞と制作の両方を気軽に体験できる、親子のためのプログラム。TOPコレクション展の展示室で自由に対話を交えながら楽しく作品を鑑賞し、その時々展示に合わせた毎回内容の異なるミニワークショップを体験します。実際に写真制作を体験することで、さらに作品鑑賞を深めることができます。

## 所要時間

2時間程度

## 対象

小学生(2016年)、小学生とその保護者(2017年～)

## 実施日・参加者数

2016(H28)年度～現在

2016年12月4日(日)、2017年1月15日(日)「対話による鑑賞プログラム」として実施「TOPコレクション 東京・TOKYO」展の鑑賞と暗室でのデジタルネガフィルムを使ったモノクロ銀塩プリント体験/16名

2017年6月25日(日)、7月2日(日)「TOPコレクション いま、ここにいる平成をスクロールする」展の鑑賞と暗室でのデジタルネガフィルムを使ったモノクロ銀塩プリント体験/18組36名

2017年8月19日(土)、20日(日)「TOPコレクション コミュニケーションと孤独 平成をスクロールする」展の鑑賞と親子のポートレート写真のモノクロ銀塩プリント体験/10組20名

2017年10月22日(日)、11月19日(日)「TOPコレクション シンクロシティ 平成をスクロールする」展の鑑賞と花の写真のモノクロ銀塩プリント体験/7組14名

2018年7月28日(土)、29日(日)「TOPコレクション たのしむ、まなぶ イントゥザ・ピクチャーズ」展の鑑賞と、自分に見立てた動物のシルエットを画面に入れ込んだモノクロ写真の銀塩プリント体験/15組30名

2018年10月28日(日)「TOPコレクション たのしむ、まなぶ 夢のかけら」展の鑑賞とフォトグラム制作体験/3組6名

## 参加者の感想

- ・普段はできない鑑賞体験ができてよかったです。作品を見ながら子どもと話すのも面白かったです。
- ・同じものや写真をみてもそれぞれで感じ方や思いが違うところが面白かったです。
- ・なごやかで素晴らしい雰囲気でした。子供がとても楽しんでいたので印象的でした。



## 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

障害の有無にかかわらず、多様な背景を持つ人が集まり、言葉を交わしながら一緒に展覧会を鑑賞するワークショップ。見える人と見えない人のペアのナビゲーターとともに、展覧会を各自の気づきを元に見えていることや感じていることを言葉にして話し合い、見方を共有しながら作品の理解を深めていきます。さまざまな視点を持ち寄ることで、一人では出会えない新しい美術の楽しみ方を発見します。

### 所要時間

2時間30分程度

### 講師

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

### 対象

どなたでも

### 実施日・参加者数

2017(H29)年度～現在

2017年5月28日(日)、6月4日(日)

「TOPコレクション いま、ここにいる 平成をスクロールする」展/13名

2017年9月3日(日)「TOPコレクション コミュニケーションと孤独 平成をスクロールする」展/11名

2017年11月3日(金・祝)「TOPコレクション シンクロシティ 平成をスクロールする」展/13名

2018年6月3日(日)、24日(日)「TOPコレクション たのしみ、まなぶ イントゥ・ザ・ピクチャーズ」展/13名

2018年9月2日(日)、10月14日(日)「TOPコレクション たのしみ、まなぶ 夢のかけら」展/13名

2018年12月9日(日)「建築×写真」展/6名

2019年1月12日(土)「日本の新進作家展vol.15 小さいながらもたしかなこと」展/5名

### 参加者の感想

- ・参加者同士で見えるもの、見えないものを共有することで、自分が感じるもの、他の人が感じるものの共通性や違いを感じられるのが面白いと思いました。目が見えていても、見えないものがあり、見えないものの中に個々のユニークな感覚がつまっていると感じました。
- ・写真作品の世界がぐっと広がった感じで、美術館へ行く楽しみが増えて嬉しかったです。作品を目の前にして会話をするからこそ、何かに気づけたり、作品に近づけるのは、やはりかなり楽しいです。
- ・自分でも思いがけない色々な感じ方や考えが次々に出てきて、他の参加者の方から触発された一人では味わえない貴重な時間でした。



撮影：【上】中島佑輔、【下】石原新一郎

## フォトドキュメンタリーワークショップ

21世紀のフォトドキュメンタリー/フォトジャーナリズムの実践的な方法を考える3日間連続のワークショップ。毎年「世界報道写真展」にあわせて開催しています。ニューヨーク在住の写真家Q・サカマキ氏、雑誌『AERA』で長年フォトディレクターを担当してきた外山俊樹氏が講師を務めます。ポートフォリオ・レビュー、レクチャー、ディスカッション、課題(クイック・ヒット・エッセイ)の制作・発表を行い、フォトドキュメンタリーのエッセンスや考え方を多面的に学びます。

### 所要時間

約6時間×3日間

(ただしワークショップ期間中の課題制作時間は含まず)

### 講師

Q・サカマキ(写真家)、外山俊樹(朝日新聞社映像報道部)

### 対象

プロのフォトジャーナリストを目指す人

### 実施日・参加者数

2016(H28)年度～現在

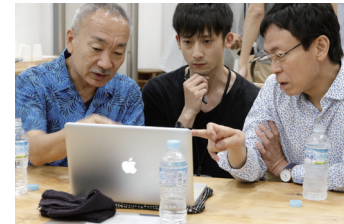
2016年9月17日(土)～19日(月・祝)/19名

2017年7月15日(土)～17日(月・祝)/15名

2018年7月14日(土)～16日(月・祝)/19名

### 参加者の感想

- ・写真の本質を教えていただき、非常に制作のモチベーションが上がりました。短い時間でもできる限りのことを教えていただけたと満足しています。
- ・今まであまり何も考えずに撮っていたのを改めて痛感したと同時に、写真への向き合い方のヒントを頂き、この3日間受講できて本当に良かったです。
- ・自分の写真を客観的にプロの目からアドバイスいただくことはなかなかないので、これからの活動の大きな励みになりました。
- ・とにかく密度の濃い三日間。課題の撮影時間が短いとは思っていたが、皆さん力作揃いで刺激をうけた。講師の方の辛口コメントも大変励みになった。同じ目線に立った厳しい指摘がこれからの成長に大きくなると確信した。
- ・報道写真についてのディスカッションやプレゼンを通して、全体的に良質な写真が沢山見られ、写真の見方、読み方についての学習ができ、とてもいい機会になりました。



## 手作りアニメーション体験

小学生とその保護者を対象とする午前コースでは、パソコンを使ったコマ撮りアニメーションを体験したり、絵や図形を描いて驚き盤を作り、アニメーションの基本を楽しみながら学びます。一般を対象とする午後コースは、オープンワークショップ形式で、大人から子供までが自分で考えた絵や図形を描いて、12コマのループするアニメーションを手作りします。

### 所要時間

1時間(午前コース)、30分～1時間程度(午後コース)

### 対象

小学生とその保護者(午前コース)、一般大人、子供(午後コース)

### 実施日・参加者数

2018(H30)年度～現在  
2018年1月14日(日)/43名  
2019年1月27日(日)/47名

### 参加者の感想

- ・コマ撮り撮影をやったのがとっても楽しかった。また、おどろきばんも作った時、少しむずかしかったけれど、とっても楽しかった。
- ・簡単そうにみえて、アニメーションを考えるのが難しかった。
- ・子供たちが楽しく参加でき、ボランティアさんの対応もよかったです。



## 高校生限定 スマホの写真でもOK! 暗室でモノクロ写真プリントワークショップ

写真に興味のある高校生のための、暗室での現像を体験するワークショップ。デジタルカメラやスマートフォンで撮影した画像を使って、暗室で本格的なモノクロ写真制作を体験します。持参したフィルムからモノクロプリントができるほか、使い捨てカメラで撮影したフィルムや、デジタルカメラやスマートフォンなどで撮影した画像データから作成したデジタルネガフィルムを使って制作することも可能。デジタルカメラで撮影しプリンター出力が基本、という高校写真部も多く見受けられる昨今、デジタル世代に伝統的な写真技法を知ってもらうことが狙いとなっています。

### 所要時間

3時間

### 対象

高校生またはそれに準じる年齢の方

### 実施日・参加者数

2016(H28)年度～現在  
2017年3月19日(日)、20日(月・祝)/11名  
2018年3月18日(日)/3名  
2019年3月17日(日)

### 参加者の感想

- ・暗室の経験も初めてで、液に浸して画が出てきた時には、感動しました。スタッフの方にも優しく教えていただいて、楽しかったです！同じ写真でも光の量を調節するだけでこれだけの変化をもたらす事が面白く感じました。
- ・納得がいくまで何度もできて良かったです。今まで何の道具か分からずに暗室に置いてあったものの使い方が分かりました。今度は是非自分で写真を現像してみたいと思います。
- ・初めてで緊張していたのですが、分かりやすく教えてもらえて、すごく楽しめました。



## クロマキーランド

さまざまな写真画像を背景に、テレビ番組などでおなじみの「クロマキー合成」の技術を用い、参加者が記念撮影を楽しむバーチャル撮影体験イベント。乳幼児から大人まで、年齢を問わず無料参加できるプログラム。参加者は、背景となる写真画像を選んで、自らがモデルとなり、思い思いのポーズで撮影。出来上がったプリントは持ち帰り可能。現実にはありえない組み合わせやスケール感による、不思議な写真画像を楽しんでもらうことが目的となっています。

### 所要時間

10分程度

### 対象

どなたでも

### 実施日・参加者数

2016(H28)年度～現在

#### ■プレオープン・イベント「クロマキーランド 東京記念撮影」

場所：恵比寿ガーデンプレイス・グラススクエア 地下1階  
2016年8月20日(土)、21日(日)/205名

#### ■TOP MUSEUM×アトレ恵比寿

「クロマキーランド どこでも記念撮影」  
場所：アトレ恵比寿 4階フォンテーヌ広場  
2017年7月8日(土)/128名

#### ■TOPコレクション展関連イベント「クロマキーランド」

場所：東京都写真美術館 1階スタジオ  
2018年7月7日(土)/78名、9月22日(土)/71名

### 参加者の感想

- ・家族でも楽しめてとても良かったです。
- ・普段出来ない体験ができて楽しかったです。思っていたより、立ち位置がむずかしかったです。
- ・日常生活で絶対に背景になることのないようなものを背景にして自分を撮るのは、新鮮で楽しかったです。
- ・合成写真を撮る機会はありませんが、自分が合成されるのは初めてのことだったので、とても楽しかったです！
- ・初めてで、とても楽しく良い思い出になりました。



## 写真のプレゼンテーションを学ぶ

写真で人に何かを伝えるスキルを高めるためのプログラム。自分自身の写真作品をプレゼンテーションし、若手ギャラリストと当館学芸員がアドバイスをを行います。写真を撮るだけでなく、写真を選ぶことや編集すること、見せること、伝えることへのトータルな関心を深めることを目的としています。これまで当館が中心としてきた制作系ワークショップ(一枚一枚の写真をどのように作るかというプロセスを体験するもの)のプリント技法的なアプローチとは異なり、「写真ができた後、それをどのようにまとめ、人に見せ、伝えるか」を重視しています。ワークショップで行うのは、参加者の写真をともに見ながら対話すること。アドバイザーが、参加者一人一人と対面形式で、「何を見せたいのか、何を伝えたいのか」にポイントをしばって対話することによる「参加者自身による気づき」を生むことを大切にしたいワークショップです。

### 所要時間

1人あたり20分

### 対象

一般大人

### 実施日・参加者数

2018(H30)年度～現在

2018(H30)年度講師：高橋瑞穂(ギャラリスト)

2018年6月15日(金)/5名

2018年9月21日(金)/7名

2019年1月25日(金)/5名

### 参加者の感想

- ・はじめてこういった場に参加させて頂き、作品をまとめる事は難しいがとても大切な事だと気付くきっかけになりました。
- ・写真に客観的なフィードバックを頂く機会は初めてでしたので、とても勉強になりました。
- ・まだ写真初心者の私がこんな場に来てしまっても良いのかとも思いましたが、思い切って参加させていただいて本当に良かったです。
- ・アドバイスをいただいて今後の参考になりました。他の参加者の方の作品も見ることができ勉強になりました。
- ・作品に対するストレートな意見が聞けて良かった。



# オープンワークショップ 手作りアニメーション体験

リニューアル・オープンを記念として開催したワークショップ。子供から大人までの幅広い参加者が随時自由参加でき、参加費無料で、オリジナル教材の「驚き盤キット」を使って手作りアニメーションの制作・体験ができるプログラムです。シンプルな図形を手がかりに絵を描いたり、本格的に12コマのループする動画を制作し、アニメーションの基本を楽しみながら学びました。

## 所要時間

15-30分程度

## 対象

一般大人

## 実施日・参加者数

2016(H28)年度  
2016年9月3日(土)、4日(日)/139名

## 参加者の感想

- ・想像していたのと違った動きになり、発見と驚きがいっぱいだった。普段絵を描くことがないので、脳が活性化したような気がした。子供心に戻って楽しめました。
- ・想像以上に子どもが真剣に取り組んでいた。大人も十分楽しめた。はじめてアニメが作れました。大満足です。楽しかったです。



# 古典技法ワークショップ

写真のさまざまな古典技法を体験するワークショップです。毎年初期写真の展覧会に合わせて開催し、鶏卵紙プリントやコロディオン湿板など、さまざまな技法を取り上げます。現代ではなかなか眼にすることの少ない古典技法による、印画紙制作や、露光、現像の流れなどが体験できる貴重な機会となっています。

## ●鶏卵紙プリントワークショップ

**所要時間** 4時間

**対象** 中学生以上

**講師** エバレット・ブラウン(元EPA通信日本支局長/ブラウンズフィールド代表)

## 実施日・参加者数

2017(H29)年度  
2017年4月22日(土)、23日(日)/35名

## 参加者の感想

- ・古典技法の現像は他の現像方法に比べると、学べる場所や機会が少なく、詳しい説明やお話も聞きながら体験出来たのはとても嬉しかった。もっと沢山やりたくなりました。
- ・古い写真を見るのが好きなので、どうして古写真はあんな風に見えるのかとか、どうやって写しているのかがわかり、とても興味深かった。
- ・企画展の趣旨に沿ったワークショップで企画展の写真史黎明期を鑑賞以上に追体験できた。

## ●コロディオン湿板制作ワークショップ

**所要時間** 3時間程度

**対象** 一般

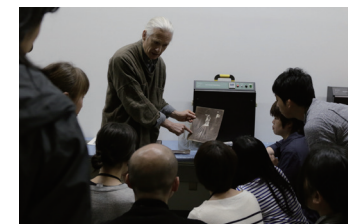
**講師** 田村政実(田村写真代表)

## 実施日・参加者数

2018年(H30)年度  
2018年4月28日(土)/12名

## 参加者の感想

- ・今まで、言葉でしか知らなかった古写真のありようを実際に見ることができ、とても勉強になった。
- ・自分で一通りやってみて、難しさや像が出てくるときの感動など自分の手でやることで味わうことができ、とても面白かったです。





# 夏休みワークショップ 手作りの家族写真 暗室でのモノクロ現像に挑戦！

今日では行う機会が少ない、暗室での写真の現像を体験する、小学生とその保護者を対象としたプログラム。参加者が自らの家族写真を選んで、そのデジタル画像を元に、デジタルネガフィルムを美術館があらかじめ制作します。ワークショップでは参加者が密着焼き付けによって、白黒プリントを制作しました。引伸機や薬品を用いて、本格的な写真の焼き付けを楽しみながら学びました。

## 所要時間

2時間

## 対象

小学3年生～6年生とその保護者(小学生のみの参加も可)

## 実施日・参加者数

2017(H29)年度

2017年7月29日(土)、30日(日)/28名

2018(H30)年度

2018年8月25日(土)、26日(日)/41名

## 参加者の感想

- ・わたしは写真がすぎてもっとおくぶかさをしりたかったのでいきかいでした。
- ・露光は、普段やる事が無いので、とても楽しかったです。色々な写真でもっと露光や、現像などをしてみたいです。
- ・昔の写真家の苦労や工夫などにもっと興味がわきました。
- ・時間やレンズを変えると、全く違う出来上がりになるのはとても興味深く、時間を忘れて取り組みました。
- ・一回やってみたかったことができて、良い体験になりました。家族の写真が浮き上がってきた時はうれしかったです。



# 8ミリフィルム自家現像ワークショップ

2017年8月～10月に開催した「エクспанデッド・シネマ再考」展に関連して実施した全2日間のワークショップです。実際に参加者ひとり一人が8ミリフィルムで映像を撮影し、そのフィルムを自分自身で現像し、不要なカットを切るなどして編集するなど、8ミリフィルム(モノクロ)にかかわる、ひとつおりの工程を体験し、最後に全員の作品を一つの空間で同時に映写するインスタレーション上映を行いました。

## 所要時間

2日間

## 対象

一般人

## 講師

石川亮(東京国立近代美術館フィルムセンター技術員、映像作家)

郷田真理子(フィルム技術者、株式会社 IMAGICA ウェスト)

※所属は開催当時のもの

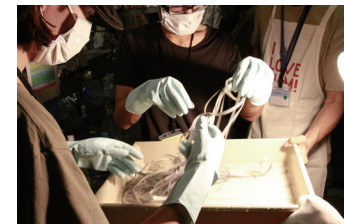
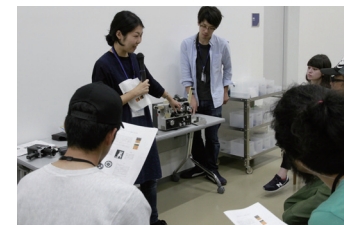
## 実施日・参加者数

2017(H29)年度

2017年9月23日(土・祝)～24日(日)/9名

## 参加者の感想

- ・全部サポートを厚くしていただいて、たくさんお話できて、本当にすごく楽しかったです！これからどんどんはまってしまいそうです。
- ・すぐわかりやすく教えてくださって本当に楽しかったし、興味がもっとわきました！8ミリに触れる初めての機会がこのワークショップで本当によかったです。
- ・8ミリ撮影-現像-上映までを2日間で行うハードなものだが、とてもやりがいがあるしおもしろい！またこのようなワークショップをやってほしい。2日間という短い中で、とても濃厚な時間を過ごすことができ、自分の作りたいものを自由に作ることができる環境でした。



## B&Wフィルム現像&プリントワークショップ in横浜

2014(H26)年度

参加者自身が当日持参した撮影済みフィルムを現像タンクを用いて現像し、暗室での引伸機や薬品を使用する化学的なプロセスによって、白黒写真印画紙にプリントしました。

所要時間	6時間
対象	一般
実施日・参加者数	2014(H26)年11月3日(月・祝)/6名
会場	ザ・ダークルーム・インターナショナル(横浜市)
講師	斎藤久夫(ザ・ダークルーム・インターナショナル代表)



## ステレオ写真ワークショップ

2015(H27)年度

デジタルカメラでの野外撮影・プリント、専用ビューワーの制作を行いました。ステレオ写真のコツをつかんで撮影、手軽に奥行きのある不思議な写真を作ってステレオ写真を楽しみました。

所要時間	5時間
対象	一般
実施日・参加者数	2015年6月27日(土)、28日(日)/21名
会場	東京都美術館(上野公園内)
講師	高島圭史(写真家)

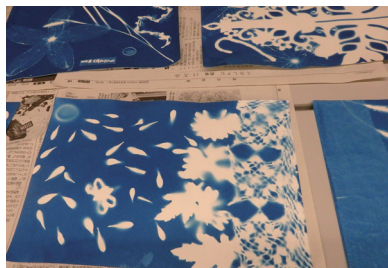


## 青写真ワークショップ

2015(H27)年度～2016(H28)年度

自然の植物やプラスチック、ガラスなどの人工物、布などずきとあった素材の日用品をモチーフとして使い、ものの影や形を手作りの印画紙に写し取って、オリジナル作品を制作しました。

所要時間	4時間
対象	一般
実施日・参加者数	2015年8月20日(木)、21日(金)/24名 2016年6月18日(土)、19日(日)/21名
会場	東京都美術館(上野公園内)



## 高校生のための写真ワークショップ 第1回 暗室でのモノクロ現像を体験しよう

2015(H27)年度

暗室の中で、現像作業を通し、白黒写真印画紙に画像をプリントしました。完成作は簡易的に作品をマット装し、壁面に展示、講師の先生方より作品についてアドバイスを受けました。

所要時間	3時間
対象	高校生・大学生
実施日・参加者数	2015年11月21日(土)、22日(日)/12名
会場	東京工芸大学 中野キャンパス
講師	勝倉峻太、川島崇志、高島圭史 (写真家/東京工芸大学)
	※所属は開催当時のもの



## 高校生のための写真ワークショップ 第2回 フィルムカメラでの撮影、フィルム現像からモノクロプリントまで

2015(H27)年度

一眼レフのフィルムカメラでの撮影、それを現像、さらにモノクロ銀塩プリントでの作品制作まで、アナログ写真にまつわる一通りの技法を体験しました。講師から、カメラの使い方、フレーミングの仕方、被写体との距離の取り方、プリントの極意など、さまざまなアドバイスがありました。

所要時間	6時間
対象	高校生
実施日・参加者数	2016年3月19日(土)、20日(日)/28名
会場	東京工芸大学 中野キャンパス
講師	勝倉峻太、川島崇志、高島圭史 (写真家/東京工芸大学)
	※所属は開催当時のもの



## 夏休み子供ワークショップ 時間のアニメーションに挑戦!

2016(H28)年度

美術作家の永岡大輔氏と共にアニメーション作品を作りました。画用紙に鉛筆で絵を描き、それを消しゴムで消して、さらに絵を描き・・・これを何度も繰り返しながら、アニメーション作品をグループ制作しました。

所要時間	5時間
対象	小学3年生～6年生
実施日・参加者数	2016年7月23日(土)、24日(日)/28名
会場	東京都美術館(上野公園内)
講師	永岡大輔(美術作家)



## SCHOOL PROGRAM

# スクールプログラム

学校の児童・生徒が写真・映像メディアとの出会いを通して、豊かな体験学習ができるように、小学校、中学校、高等学校、大学および各種学校の授業や活動、教職員の研修と連携し、スクールプログラムを実施しています。当館のスクールプログラムの特徴は、一度の来館で、写真や映像作品の制作と作品鑑賞の両方を体験できることです。表現と鑑賞の両面から、写真/映像の仕組みと楽しさを体験的に理解できる内容となっています。

## 作品鑑賞体験プログラム

### A 対話しながら作品を見てみよう

グループで一つの作品を鑑賞し、参加者それぞれが作品を見て、気づいたことや感じたことを率直に話し合いながら見方を深めていく鑑賞方法です。はじめにウォーミングアップとして当館オリジナルの形と言葉を組み合わせるゲームを行い、思ったことを自由に話すことや友達と考えが違うことの楽しさを体験し、その後展示室で作品を鑑賞します。お互いの発言を共有しつつ鑑賞を進めることで、一人では気づけなかった作品の魅力や多様な見方を知ることができるとともに、自ら能動的に鑑賞する体験がより深い学びと理解を生みます。また、対話をしながら鑑賞することは、観察力、洞察力、想像力、傾聴力、発言力、語彙力などさまざまな力をはぐくむきっかけにもなり、豊かな鑑賞体験とともに、充実した言語活動を能動的に行うことができます。

### 児童・生徒の感想より

#### 色と形と言葉のゲーム

- ・形が同じでも色がちがうといんしょうがまったくちがいました。また同じ写真でも思いうかべる物が人によってちがいました。(小学5年)
- ・選んだカードは同じでも、理由がちがうところがいいとおもいました。トンカチに見えたり、人に見えたりして、人によって見えがちがっておもしろかったです。(小学4年)
- ・思うことはかんたんなのに、言葉でつたえることはむずかしいと感じました。(小学3年)

#### 対話型作品鑑賞

- ・その写真をなぜとろうと思ったのか、なぜ選んだかといった人の気持ちになって考えるのが楽しかったです。また、写っている人の目線や気持ちを考えるのもおもしろかったです。(小学4年)
- ・写真の中には、いろんなものがつまっていて、ある物からいろんなことが想像できたので、ただの一枚の紙と思っていた自分の考えがかわりました。(小学6年)
- ・みんなで写真を見て意見をだしたのが一番印象に残っている。他の人の考えにふれることができたから。また自分だけで考えを広げていくのもみんなでみるのとはちがいで、どんどん深く考えられるのが良かった。(小学6年)



## 暗室体験プログラム

### B フォトグラム

フォトグラム(フォトジェニック・ドローイング)はさまざまなものの影を、印画紙へ直接写し取る写真方式のこと。各自が持参した身の回りの日用品(布や紙、ガラスやプラスチックなど)を印画紙の上に並べて、暗室で現像作業を行い作品を制作します。カメラに頼らない自由な造形活動により、もののかたちの多様さを実感しながら写真ならではの光と影による表現とモノクロ銀塩写真の暗室作業プロセスを体験し、写真作品の制作方法を追体験することができます。

#### 児童・生徒の感想より

- ・身のまわりにあるもので、あんなにおもしろいものができるとは、思ってもいませんでした。それにいろいろなくふうもできて楽しかったです。(小学4年)
- ・げんぞうで暗室に入ってやる作業がものすごくおもしろかったのでまたやってみたいと思いました。えきたいにつけたら、とった写真がうかがいあがるのがふしぎでした。(小学4年)
- ・予想とはちがうようにうつることが多く、おもしろさがつつうの写真より高かった。(小学5年)



### C デジタルカメラの画像から

#### 白黒写真をプリントする

各自がデジタルカメラで撮影した写真画像を、事前に美術館に提出してもらい、そこからあらかじめ作成したデジタルネガフィルムを用いて、暗室で白黒写真現像を体験します。デジタル画像だけでなく、フィルムカメラ(ネガフィルム)での現像体験も可能。プログラムでは、1~2カットの画像を、段階露光や、フィルター調整、追い焼き、覆い焼きなどを行いながら何度もプリントを繰り返し、だんだんと理想のプリントに近づけていくことで、写真家たちの試行錯誤を理解することができます。

#### 児童・生徒の感想より

- ・フィルターの効果を変えたり、露光時間を変えたりとカメラで撮った後で自由に操れるのは楽しかった。(高校生)
- ・白黒写真の楽しさを発見できた。(高校生)
- ・iPhoneで撮ったものが、時間をかけてプリントになり、液晶画面でなく紙になったのがギャップを感じ、おもしろかったです。(高校生)



## 手作りアニメーション体験プログラム

### D 驚き盤

驚き盤(フェナキスチスコープ)は、19世紀を起源とするアニメーション装置。円盤型の紙に絵や図形を少しずつ変化させながら12コマ描き、それを鏡に向かって回転させ、盤上のスリットを通して鏡を見ることで、描いた絵が動画として知覚されるという仕組みのもの。驚き盤に絵を描いて、それを鑑賞することを通してアニメーションの仕組みを楽しみながら体験的に学ぶことができます。また、どのようにしたら動いて見えるのかを自身で考えることによる能動的学習、自らが描くことによってアニメーション表現の体験的理解、さらに仲間と互いに驚き盤を覗くことでのコミュニケーションを伴った学習という3つの学びを、楽しみながら行えます。

#### 児童・生徒の感想より

- ・おどろきばんを教えてもらった時、アニメも、こんなふうに行っているとかんがえると、とてもたいへんなんだなと思いました。(小学5年)
- ・自分のかいた絵が動くので、とてもおもしろかったです。また友達のかいたおどろきばんをみるのも楽しかったです。(小学5年)
- ・19世紀にこんなぎじゅつがあることを知って一番ビックリしました。(小学3年)



撮影：川瀬一絵(ゆかい)

### E コマ撮りアニメーション

専用のソフトを搭載したパソコンやウェブカメラなどの機材を用いて、テーブル上の様々なモチーフをコマ撮り撮影し、アニメーションを制作します。アニメーションならではの映像表現の仕組みを知り、動かないものに命を与えるアニメーションの魅力と楽しさを体験することができます。また、複数人がグループとなってひとつのアニメーションを作り上げる過程での、相互協力、リーダーシップ、意見の調整などさまざまな生きる力の学びを行うこともできます。

#### 児童・生徒の感想より

- ・協力してつくるコマ撮りアニメは、とても素晴らしいものだとわかりました。何が素晴らしいかというと、みんなの意見を聞き合えたり、その意見をどう生かすのかどうやって表すのか考えたりできるところです。(小学5年)
- ・少しずつ動きを変えていって、つなげて見たのが「おもしろい!」と思いました。(小学4年)
- ・コマどりアニメーションで、大きく動かすと、はやくなって、小さく動かすと、おそく動くということが分かりました。(小学5年)



撮影：川瀬一絵(ゆかい)

## 先生方の感想

子供達は、美術館であんなに作品づくりを教えてもらったり、ゲームをしたりといった活動ができたのが、本当に楽しかったようで、2時間かけて学校にもどり、ちょっとへろへろになりながらも、「楽しかった!」「もっといたかった!」と喜んでいました。教員の方といたしましても、あのように手厚く準備していただけたことに皆おどろき、感謝しています。(都内公立小学校 図画工作担当教員)

対話型のワークショップは、子供たちも学ぶことがあったようですが、私たち教師側の勉強にもなりました。担任の話では、社会科の授業でも「写真からどんなことがわかる?」という質問はよくしているそうです。普段は1枚の写真を見ても、あんなに意見や感想は出てこないと驚いていました。(中略)とにかく「行ってよかった!」の一言に尽きます。あんなにたくさんのスタッフに囲まれて、非常にわかりやすく、一つひとつの活動にじっくり取り組むことができました。子供たちの満足そうな顔を見て、私もホッとしました。正直これまで校外学習に対して、効果があるのかという不安がありました。しかし、今回で払拭されました。子供たちの感受性の豊かさを知る機会にもなりました。これからもっともっとたくさんの美術館を訪問していきたいです。(都内公立小学校 図画工作担当教員)

授業終了後、感想を聞きましてところ、「写真で楽しく絵が描けた」「またやってみたい」等の前向きな感想を得ることができました。ボランティアや学芸員の方々の温かい声かけや丁寧な指導は子供たちの写真への関心を更に高めていったことと思います。(都内公立中学校 特別支援学級担任教員)

子供たちが、写真の展示物にも興味を強くもったことは、私にとって子供たちの新たな一面を知ることになり、大きな収穫になりました。絵画や立体制作と比べると、鑑賞の授業は、どうしても後回しになりがちで、子供たちがどんなことを感じ取っているのかを知る機会は、正直あまり多くはありませんでした。(中略)1枚の絵や写真を

クラスのみんで見るだけの、準備も手間もほとんどいらない単純な活動で、子供の内面をあんなにたくさん知ることができるなんて、何で今までやってこなかったのだろうと反省しました。どの子がどんなことを思ったか発表しても、誰も否定せず、受け入れるあの共感的な空間は、学級経営にもとても役立つなあと感じました。担任の先生たちにとっても勉強になったようです。(都内公立小学校 図画工作担当教員)

印画紙の仕組みを体験するのも、暗室に入るのも初めての生徒たちには大変新鮮かつ刺激的なプログラムだったと思います。また同時に多くの生徒にとっては写真展も初体験で、アート作品としての写真表現の幅広さも実感できたようです。写真は今の若者たちにとってとても身近なツールですが、その原点と表現力に触れる機会を持ったことで、彼らは今後より自由自在にこのツールにアプローチしていくのではないかと思います。(都内通信教育課程高校教員)

様々に練り上げられたプログラムとその中でのお話は、子供たちにも大人たちにも心地よい、嬉しい刺激で、またとない経験となりました。(私立小学校 美術クラブ顧問)

子供たちの感想に、正直驚きました。普段は、あまり作文が得意でなかったり、あまり感情を表現しなかったりするような子供たちが中にはいます。そんな子供たちの中で、5行びっしりとお手紙を書いている子がいました。とても嬉しかったです。子供たちが「写真」に対しても、興味をもつことができたことは大きな成果だと思います。写真を撮った人が「どうしてこの場面を撮ったのか?」ということ考えた児童もいました。「自分だったらこの場面でシャッターを切っただろうか。」「どうしてぼかして写したのだろう。」など、1枚の写真を通して様々なイメージを膨らませることができましたし、また、友達の感想を聞きあうことも、とても意義のある活動だったと思います。(都内公立小学校 図画工作担当教員)

## スクールプログラム受け入れ数

2016年4月～2019年3月

2016(H28)年度	回数：47回(うち休館中15回) 人数：1,415名(うち休館中518名) 内訳：小学校25回、中学校5回、高等学校6回、 大学6回、教員5回
2017(H29)年度	回数：41回 人数：1,096名 内訳：小学校9回、中学校6回、高等学校3回、 大学18回、教員3回、その他2回
2018(H30)年度	回数：48回 人数：1,149名 内訳：小学校11回、中学校7回、高等学校7回、 大学15回、教員5回、その他3回

# スクールプログラム活用状況 2016～2018年度

小・中・高等学校の授業および教員研修

## 2016(平成28)年度

※は出張授業実施校

学校名	対象・学年	授業区分	人数	プログラム内容
江戸川区立第三松江小学校	4年生	図画工作	82	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
港区立御田小学校	4年生	図画工作	66	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
港区立南山小学校	5年生	図画工作	12	対話型作品鑑賞
港区立白金の丘小学校	6年生	図画工作	56	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
渋谷区立常盤松小学校	5年生	図画工作	13	対話型作品鑑賞
渋谷区立広尾小学校	5年生	図画工作	35	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	3年生	図画工作	64	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	4年生	図画工作	54	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	5年生	図画工作	58	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	6年生	図画工作	55	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
目黒区立向原小学校	3年生	図画工作	33	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
目黒区立駒場小学校※	4年生	図画工作	60	対話型作品鑑賞
東京都図画工作研究会西多摩大会 福生市立福生第一小学校※	4年2組	研究授業	19	対話型作品鑑賞
杉並区立東田中学校	1,2,3年生	通級学級	16	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
女子聖学院中学校	写真部	部活動	7	対話型作品鑑賞
筑波大学付属駒場中学・高等学校	中学生	総合学習	20	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
目黒区立大島中学校	1年生	職場見学	10	美術館概要説明、学芸員の仕事説明
獨協埼玉中学高等学校	美術部	部活動	12	展覧会解説
公立高等学校定時制通信制芸術祭 展示部門生徒研修会	1,2,3年生	部活動	20	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
都立葛飾野高等学校	美術部	部活動	7	モノクロ銀塩プリント / 対話型作品鑑賞
明治学院高等学校	写真部	部活動	14	モノクロ銀塩プリント / 展覧会解説
明治学院高等学校	3年生	校外学習	11	モノクロ銀塩プリント / 対話型作品鑑賞
British School in Tokyo	10年生(高校1年生)	ART	16	モノクロ銀塩プリント
中野区図工研究会	図工教員	教員研修	14	コマ撮りアニメーション、 驚き盤 / 展覧会自由見学

## 2017(平成29)年度

江戸川区立第三松江小学校	4年生	図画工作	97	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
品川区立浅間台小学校	5,6年生	図画工作	56	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	3年生	図画工作	63	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	4年生	図画工作	61	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	5年生	図画工作	56	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	6年生	図画工作	59	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
港区立御田小学校	4年生	図画工作	62	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
港区立白金の丘小学校	5年生	図画工作	68	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
港区立白金の丘小学校※	5年生	図画工作	72	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
筑波大学付属駒場中学・高等学校	中学3年生	総合学習	10	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
公文国際学園中等部	1年生	インタレスト スタディーズ	21	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞

学校名	対象・学年	授業区分	人数	プログラム内容
狛江市立狛江第一中学校	美術部	部活動	17	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
江戸川区立篠崎中学校	美術部	部活動	6	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
練馬区立旭丘中学校	美術部	部活動	8	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
練馬区立旭丘中学校※	特別支援学級	美術	15	青写真
都立世田谷泉高等学校	写真部	部活動	6	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
東京ネットウェイブ	高校2年生	校外学習	7	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
茨城県立高等学校文化連盟写真部会	1,2,3年生	部活動	60	概要説明 / 展覧会解説
東京都歴史文化財団主催 ティーチャーズプログラム	教員	教員研修	14	概要説明 / フォトグラム / 対話型作品鑑賞
中央区図工研究会	図工教員	教員研修	13	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
荒川区図工研究会	図工教員	教員研修	12	フォトグラム / 対話型作品鑑賞

## 2018(平成30)年度

立教女学院小学校	美術クラブ	クラブ活動	3	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
品川区立浅間台小学校	5,6年生	図画工作	55	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
品川区立第三日野小学校	美術クラブ	クラブ活動	12	対話型作品鑑賞
港区立御田小学校	4年生	図画工作	63	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
港区立港陽小学校	6年生	図画工作	55	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
港区立白金の丘小学校	5年生	図画工作	100	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	3年生	図画工作	42	驚き盤 / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	4年生	図画工作	63	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	5年生	図画工作	59	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
渋谷区立加計塚小学校	6年生	図画工作	53	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
筑波大学付属駒場中学・高等学校	中学3年生	総合学習	12	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
杉並区立井草中学校	1年生	体験学習	5	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
狛江市立第四中学校	美術部	部活動	13	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
武蔵野市立第四中学校	美術部	部活動	10	コマ撮りアニメーション / 対話型作品鑑賞
茨城県立高等学校文化連盟写真部会	1,2,3年生	部活動	65	概要説明 / 展覧会自由見学
福島県郡山市立郡山第三中学校	3年生	修学旅行	3	モノクロ銀塩プリント / 対話型作品鑑賞
宮城県仙台市立東仙台中学校	3年生	修学旅行	9	モノクロ銀塩プリント / 対話型作品鑑賞
宮城県七里ヶ浜町立向洋中学校	3年生	修学旅行	4	モノクロ銀塩プリント / 対話型作品鑑賞
都立世田谷泉高等学校	高校生	部活動	6	対話型作品鑑賞
淑徳与野高等学校	写真部	部活動	12	モノクロ銀塩プリント / 対話型作品鑑賞
高崎市立高崎経済大学附属高等学校	写真部	部活動	13	対話型作品鑑賞
都立志村学園	特別支援高等部	部活動	16	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
東京都歴史文化財団主催 ティーチャーズプログラム	学校教員	教員研修	18	概要説明 / フォトグラム / 対話型作品鑑賞
江戸川区図工研究会	図工教員	鑑賞研修	12	対話型作品鑑賞レクチャー、体験
中野区図工研究会	図工教員	教員研修	14	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
杉並区図工研究会	図工教員	教員研修	17	フォトグラム / 対話型作品鑑賞
練馬区図工研究会	図工教員	鑑賞研修	33	フォトグラム / 対話型作品鑑賞

## アウトリーチ形式によるスクールプログラム

2014年10月～2016年9月

大規模改修休館中であった2014(H26)年10月～2016(H28)年9月は、依頼のあった学校へ出張して、授業を行うアウトリーチ形式により、以下のような写真と映像の制作や鑑賞のプログラムを実施しました。それぞれの学校の状況や授業内容を担当の先生と細かく相談しながら、ひとつひとつオーダーメイド型の授業を展開しました。

2014(H26)年度 実施回数：6回/参加人数：215人

2015(H27)年度 実施回数：27回/参加人数：1,100人

2016(H28)年度 実施回数：14回/参加人数：447人

計 47回/1,762人

### 1 青写真—太陽の光で影を写しとる

青写真は、専用の薬品を塗布した印画紙に、紫外線によって像を焼き付ける写真方式で、深い青色の発色が特徴。授業では、画用紙などに薬品を塗布して青写真用の印画紙をつくることから、実際に身の回りの物を印画紙に載せて日光に当て、露光現象するまでのひととおりの工程を体験しました。

青写真は、紫外線にしか反応・感光しないため、暗室のような真っ暗な部屋を準備することが難しい学校でも手軽に実施が可能で、露光を校庭などさまざまな場所で行いながら写真制作をしました。

### 2 手作りアニメーション体験—驚き盤

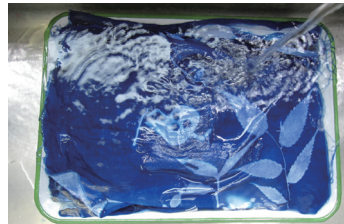
19世紀を起源とするアニメーション装置である驚き盤の制作を行いました。驚き盤に絵を描いて鑑賞することを通して、アニメーションの仕組みを体験的に学びました。

### 3 手作りアニメーション体験—コマ撮りアニメーション

パソコンやウェブカメラなどの機材を使ってアニメーション作品をグループで制作しました。なかには、学校所有のパソコンに専用のアニメーションソフトをダウンロードして授業を実施することで、これ以降、先生自身で手軽にアニメーションの授業を行えるようになった学校もありました。

### 4 作品鑑賞—対話しながら作品を見てみよう

図工室や教室にスクリーンを設置し、当館の収蔵作品の画像を投影し、自由に思ったことを対話しながら、鑑賞を深めていきました。



## ボランティア活動

VOLUNTEER ACTIVITIES

パブリックプログラム、スクールプログラムなどの際に、教育普及プログラムボランティアが来館者サポートを行っています。暗室での現像やアニメーション制作の補助、対話型作品鑑賞のためのファシリテーター、障害のある方のためのプログラムでのサポートなど多方面で活躍するとともに、全員が各プログラムでスムーズに活動できるよう、さまざまな研修を行いスキルアップをはかっています。

### ボランティア統計

2015(H27)年度	登録者数：67名(うち新規登録者13名) 活動内容：制作系プログラムの参加者サポート、対話型作品鑑賞のファシリテーター、恵比寿映像祭運営補助
2016(H28)年度	登録者数：66名(新規募集実施せず) 活動内容：制作系プログラムの参加者サポート、対話型作品鑑賞のファシリテーター、恵比寿映像祭運営補助
2017(H29)年度	登録者数：68名(うち新規登録者16名) 活動内容：制作系プログラムおよび鑑賞プログラムでの参加者サポート、対話型作品鑑賞のファシリテーター、恵比寿映像祭運営補助
2018(H30)年度	登録者数：74名(うち新規登録者14名) 活動内容：制作系プログラムおよび鑑賞プログラムでの参加者サポート、対話型作品鑑賞のファシリテーター

# 東京都写真美術館ボランティア活動記録

## 2015(平成27)年度

年月日	曜日	内容・会場・講師など	
27年5月21日	木	新規ボランティア研修会 A	
27年5月22日	金	新規ボランティア研修会 B	
27年6月7日	日	ボランティア連絡会	
27年6月7日	日	ボランティア研修会(「ステレオ写真ワークショップ」事前研修)	講師：高島圭史(写真家)
27年9月19日	土	ボランティア連絡会	
27年9月19日	土	ボランティア研修会(作品鑑賞プログラム)	講師：当館学芸員
28年2月		対話型作品鑑賞のファンリテーションでの活動開始	
28年2月27日	土	ボランティア連絡会	
28年2月27日	土	ボランティア研修会(コマ撮りアニメーション研修)	講師：布山タルト(東京藝術大学大学院教授/アニメーション作家)

## 2016(平成28)年度

28年6月5日	日	ボランティア連絡会	
28年6月5日	日	ボランティア研修会(作品鑑賞プログラム その1)	講師：当館学芸員
28年9月10日	土	ボランティア連絡会	
28年9月10日	土	ボランティア研修会(フォトグラム、モノクロ銀塩プリントのプログラムでの活動について)	講師：当館学芸員
28年11月27日	土	ボランティア研修会(作品鑑賞プログラム その1・その2)	講師：当館学芸員
29年3月11日	土	ボランティア連絡会	

## 2017(平成29)年度

29年4月9日	日	ボランティア研修会(鶏卵紙プリント)	講師：当館学芸員
29年6月3日	土	新規ボランティア実技研修	講師：当館学芸員
29年6月3日	土	ボランティア連絡会	
29年6月30日	金	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
29年7月23日	日	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
29年8月6日	日	ボランティア研修(鑑賞プログラム その1・その2)	講師：当館学芸員
29年8月25日	金	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
29年9月30日	土	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
29年10月1日	日	ボランティア連絡会	
29年10月1日	日	ボランティア研修会(すべての人に開かれた美術館プログラムについて)	講師：林建太、鄭晶晶、木下路徳(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)
29年10月27日	金	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	

29年11月23日	木祝	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
29年12月22日	金	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
30年1月27日	土	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
30年1月21日	日	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その3-1)	講師：当館学芸員
30年1月27日	土	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その3-1)	講師：当館学芸員
30年2月17日	土	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その3-2)	講師：当館学芸員
30年2月25日	日	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その3-2)	講師：当館学芸員
30年3月4日	日	ボランティア連絡会	
30年3月4日	日	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その3-3)	講師：当館学芸員
30年3月11日	日	ボランティア研修会(ボランティア活動でのコミュニケーションについて)	講師：伊達隆洋(京都造形芸術大学准教授)
30年3月21日	水祝	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その3-4)	講師：当館学芸員

## 2018(平成30)年度

30年4月15日	日	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その3-5)	講師：当館学芸員
30年5月12日	土	ボランティア連絡会	
30年5月12日	土	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
30年5月19日	土	ボランティア研修会(実技系プログラムフォローアップ研修)	講師：当館学芸員
30年6月24日	日	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
30年8月5日	日	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その1・その2)	講師：当館学芸員
30年9月2日	日	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
30年9月15日	土	新規ボランティア研修会 第1回 Aチーム	
30年9月18日	火	新規ボランティア研修会 第1回 Bチーム	
30年9月30日	日	新規ボランティア研修会 第2回	
30年9月30日	日	ボランティア連絡会	
30年10月7日	日	ボランティア自主研修会(暗室開放)	
30年10月7日	日	ボランティア研修会(鑑賞プログラム その1・その2)	講師：当館学芸員
30年11月18日	日	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
31年1月20日	日	ボランティア自主研修会(スタジオ・暗室開放)	
31年3月10日	日	ボランティア連絡会	
31年3月10日	日	ボランティア研修会(聞こえない人とのコミュニケーションについて)	講師：瀬戸口裕子、長谷川美紀(手話通訳者)



# 博物館実習

## MUSEUM PRACTICE PROGRAM

博物館実習は、博物館法に基づき、大学で修得できる博物館に関する科目の一つで、登録博物館又は博物館相当施設における実習によって単位を修得するものと定められています。東京都写真美術館では2000年より各大学からの実習生を受け入れています。



### 博物館実習統計

2016(H28)年度 受入日程：2016年7月20日(水)～8月4日(木)のうち11日間  
実習生数(学校数)：4名(4校)  
※大規模改修休館中に実施

2017(H29)年度 受入日程：2017年8月17日(木)～9月7日(木)のうち12日間  
実習生数(学校数)：12名(10校)

2018(H30)年度 受入日程：2018年8月21日(火)～9月7日(金)のうち10日間  
実習生数(学校数)：11名(10校)



東京都写真美術館は、わが国唯一の写真・映像の総合美術館として、1995(平成7)年1月に恵比寿ガーデンプレイスに誕生しました。収蔵作品数は古今東西の名品が35,000点以上。とくに日本作家の充実した豊富なコレクションなどは、他館にないユニークなものです。

当館は、3つの展示室を持ち、国内外の質の高い写真・映像作品を紹介する展示会の開催を行うほか、幅広い層を対象にした多様な教育普及プログラムを実施し、専門図書室を有し、当館ならではの良質な映画の上映を行うなど、様々な角度から写真・映像に親しんでいただける活動が盛り沢山です。

東京都写真美術館の教育普及プログラムは、東京都写真美術館支援会員のサポートにより実施しています。

教育普及プログラムの最新情報はウェブでお知らせしています。

東京都写真美術館 教育普及ページ

[http://topmuseum.jp/contents/pages/education\\_index.html](http://topmuseum.jp/contents/pages/education_index.html)

東京都写真美術館 教育普及ブログ

<http://blog02.topmuseum.jp/>

**東京都写真美術館**  
**教育普及プログラム記録集**  
2014-2018

編集 | 東京都写真美術館 樹田言葉、武内厚子、石田哲朗

デザイン | 佐野真弓 (株式会社日本デザインセンター)

印刷 | 株式会社公栄社

発行 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3

恵比寿ガーデンプレイス内

tel: 03-3280-0099

[www.topmuseum.jp](http://www.topmuseum.jp)

発行日 | 2019年3月

無断転載禁止

TOP MUSEUM 東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM